



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所
 財団法人日本臨床衛生検査技師会
 発行責任者 小崎繁昭
 編集責任者 蒲池正次、小郷正剛、下田勝二、
 山城元俊、及川雅寛、谷口薫、
 高山敦也
 〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号
 TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722
 ホームページ <http://www.jamt.or.jp>

新型インフルエンザ対策 研修会

新型インフルエンザ「第2波」に備えて・・・!

- ◇ 日 時 : 平成 21 年 9 月 6 日(日) 10 時～15 時 30 分(受付 9 時 30 分～)
- ◇ 会 場 : 日本教育会館・一ツ橋ホール (会場へは 4 ページを参照)
- ◇ 対 象 : 日本臨床衛生検査技師会会員を優先(申込順 500 名を予定)
- ◇ 主 催 : 社団法人日本臨床衛生検査技師会
- ※ 参加費 : 無 料 <申し込み方法等詳細は、会誌「医学検査」8号をご参照ください>

WHO では新型インフルエンザの警戒レベルをフェーズ 6 に引き上げ、日本政府も引き続き、感染拡大防止、適切な医療の提供に務めていくこととされている。また、今秋以降、本格的な「第 2 波」の流行に備えることが喫緊の課題となっている。

これまで国内では、各医療機関、自治体の冷静な対応でパニックとなる事態は避けられてきたものの、本来の流行期を迎え、また、菌の強毒化が見込まれていることから、「第 2 波」流行に関する情報を含めて、第一線でご活躍の第一人者の先生方にお願ひし、この時期に研修会を開催することとした。

今後、流行期には感染症指定医療機関のみならず、一般医療機関にも患者が集中することは必至である。その中で、臨床検査技師には、正確かつ効率よい検査、検体そのものが感染源にもなるため安全な取扱いも求められる。

今回の研修会は、これまでの発生から流行までの状況把握と「第 2 波」の見通し、新型インフルエンザの疫学的調査、今後の行政の取り組みなどを中心に、情報を共有し有事に備えることを目的とする。

講演内容

1. 10:00～11:30 「**これからの新型インフルエンザへの対応**」 (仮題)
 国立感染症研究所・感染症情報センター長 岡部 信彦
2. 11:30～12:30 「**新型インフルエンザの实地疫学調査**」
 国立感染症研究所・感染症情報センター主任研究官 松井 珠乃
 << 休憩 >>
3. 13:30～14:30 「**新型インフルエンザ第2波に向けた厚生行政**」
 厚生労働省健康局結核感染症課新型インフルエンザ対策推進室室長補佐 高山 義浩
4. 14:30～15:30 「**現場からの実践報告**」 (仮題)
 西神戸医療センター 山本 剛
 福岡市民病院 坂本 徳隆
 <敬称 略>